

電中研 ニュース

CRIEPI のうごき

427

2006.4 春

平成18年度事業計画を策定しました。電気事業と社会のニーズに沿った研究課題の選択と資源の集中を図るため、「研究の5本柱」に研究課題を再構成。職制改正を行い知財戦略の充実と業務の一層の効率化を図るため、知的財産センターを設置しました。

「頼りになる」「存在感のある」研究所を目指し、2006年春、新しいスタートです。



CONTENTS

トピック 「研究の5本柱」で研究課題を構成
社会に役立つ事業運営に向けて組織を見直し

R&D PDセンターが本承認を受ける
ハイブリッド動的力学試験設備が完成

ひと・人 新しい研究課題構成にこめる思い
企画グループ 上席 犬丸 淳

イベント イベント情報 2006年4月～7月

「研究の5本柱」で研究課題を構成

平成18年度事業計画を策定

電気事業や社会を取り巻く環境の変化を踏まえ、電力中央研究所が今すぐ取り組むべき研究の柱として、①原子力技術、②先進保守技術、③環境・革新技術、④最適エネルギー利用技術、社会・経営リスクマネジメント、を設定しました。

平成18年度は、研究の柱ごとに、現場で役立つ

研究成果をタイムリーに提供する「プロジェクト課題」を設定し、下に示すような新しい研究課題構成により研究を進めます。このうち、特にニーズが高い12課題を「重点プロジェクト課題」と位置づけ、研究資源を重点配分します。また、「基盤研究課題」においては、当研究所が持つ基盤技術による現場のバックアップや夢のある革新技術への挑戦を進めます。

研究の5本柱

重点プロジェクト課題

① 原子力技術

～ 安定供給の基盤支援 ～

合理的で信頼性の高い軽水炉維持管理技術の開発、国や電気事業などが進めるバックエンド事業の支援研究、放射線に対する影響評価と安全確保手法の開発、小型高速炉設計評価などを進めます。

軽水炉における照射脆化の高精度予測と規格化
高レベル放射性廃棄物処分技術の開発
低レベル放射性廃棄物処分技術の開発
リサイクル燃料等の貯蔵・輸送技術の開発
金属燃料サイクル技術の開発

② 先進保守技術

～ 電力設備の合理的運用 ～

発電から流通までの電力設備の合理的運用を支え、最大限に使い切るための設備診断技術やアセットマネジメントによる運用保守支援技術の開発などを行います。

電力流通設備の経年機器維持基準の構築
ガスタービン個体翼健全性評価技術の確立
発電機器・鋼構造物の非破壊評価手法の開発
需要地系統技術の確立

③ 環境・革新技術

～ 化石・新エネルギーの持続的活用 ～

地球温暖化の影響評価と対策技術の開発、バイオマスの高効率利用技術、革新的な環境計測技術、石炭火力、IGCC、燃料電池に関する革新技術の開発などを進めます。

温暖化影響の科学的評価と適応
バイオマスエネルギーの高効率利用システムの開発

④ 最適エネルギー

～ 快適で豊かな

新型エコキュート評価・向上、エネルギー利用の支障量SiC半導体インバータの開発

現場ニーズにこたえるプロジェクト課題

原子力発電

リスク情報評価、原子力基盤技術応用、革新エネルギーシステムの評価、燃料・炉心技術、水化学管理技術

電力流通

系統解析、故障電流対策技術、電磁波動解析、次世代機器絶縁、電磁環境評価

現場をバックアップする基盤研究課題

先端的基礎研究

レーザー・フォトン応用計測科学、機能性酸化物の機構解明

情報・通信

系統監視・制御ネットワーク、通信基盤技術、情報基盤技術

化石燃料発電

火力発電の運用・保守技術、燃料改質と環境保全技術、構造材料・コーティング評価

環境

大気・水域・生物環境評価、バイオ技術、環境リスクマネジメント

社会に役立つ事業運営に向けて組織を見直し

知的財産センターを設置

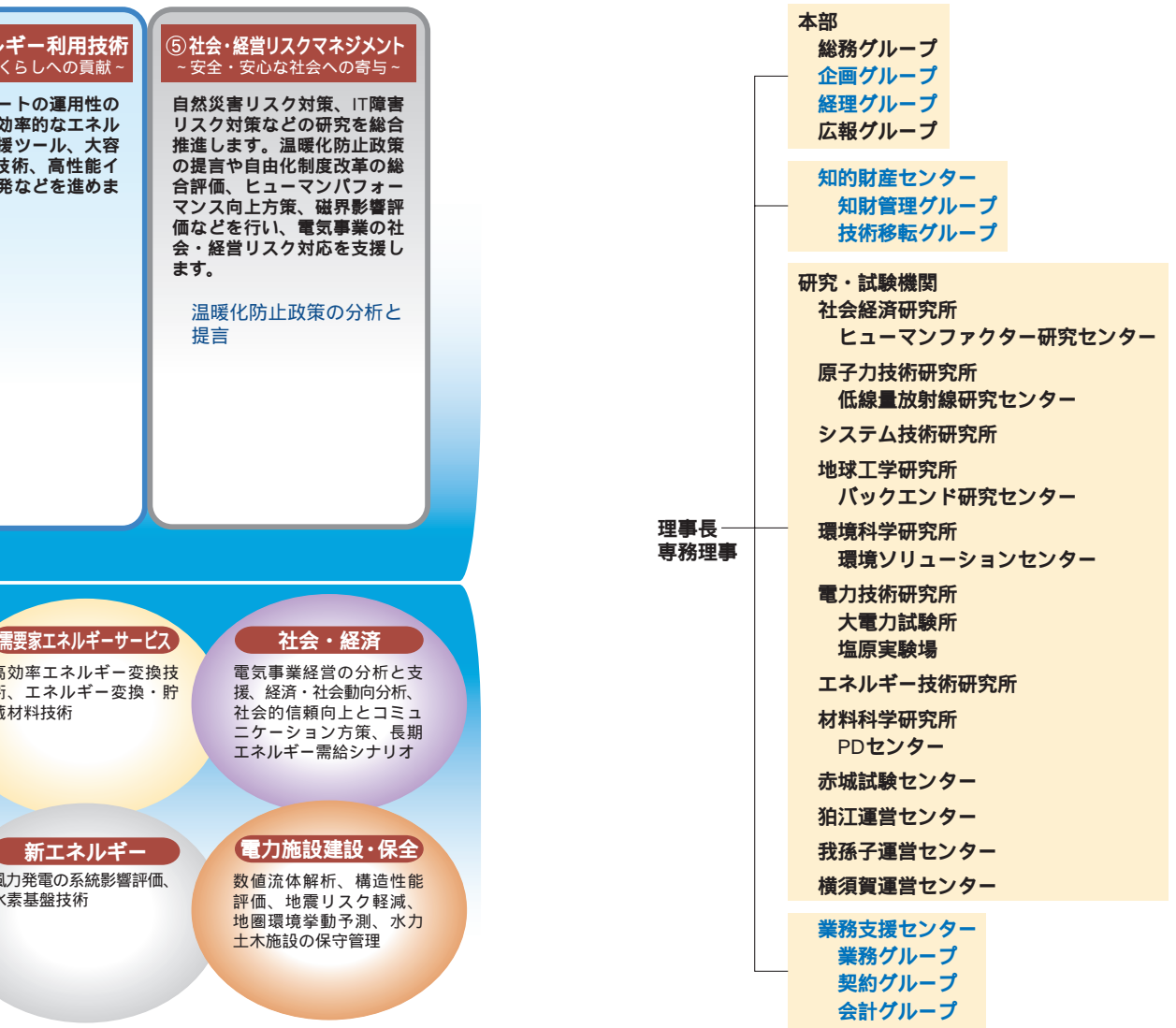
高まる競争環境の中で、研究活動の知財価値を最大限に引き出し、電気事業はじめ社会のみなさまのお役に立つ事業活動を推進するため、当研究所は4月1日付けで狛江地区に「知的財産センター」を設置しました。

昨年とりまとめた中期的視野にたった経営計画では、目標の一つに「知的財産の充実に向けた仕組み作り」を盛り込みました。今般の「知的財産センター」の設置は、この目標に向けて

の体制と人材を強化したものの。同センターの設置に伴いICS推進本部が廃止されますが、これまでに蓄積した「社会に役立つ活動」の基盤をいかして、今後は、研究全般にわたる「知的財産の創出、活用、管理」(知財管理グループ)を一層進め、「技術移転の促進」(技術移転グループ)を強化してまいります。

また、全体の組織を見直し、下記の新体制になりました。

新職制 * 青字が新設の部署





新しい研究課題構成にこめる思い

頼られる研究所の実現を目指して

今年度から新たに研究の5本柱を設定し、研究課題構成の大幅な見直しを行いました。

研究の5本柱については、電気事業の喫緊の経営課題である、「原子力技術」、「先進保守技術」、「環境・革新技术」に加えて、今後当研究所が力を入れる研究の柱として、快適で豊かなくらしを支える「最適エネルギー利用技術」、安全・安心な社会の実現に寄与する「社会・経営リスクマネジメント」を設定しました。研究課題構成の見直しにあたっては、これまで以上に、電気事業と社会のニーズを吸い上げること、具体的な達成目標および成果の活用先・時期を明確にすることを徹底し、全所的な議論を経て「プロジェクト課題」を設定しました。

また、将来にわたって電力技術の中核機関と

して「頼られる研究所」であるため、基盤研究力を一層強化し、次世代コア技術の育成、創造的アイデアによる将来課題への挑戦を進めます。このため、専門分野別研究所の特徴を生かした「基盤研究課題」を設定しました。

研究の推進にあたっては、外部評価を積極的に取り入れるなどして、社会から「目に見える」成果を分かりやすく発信していきたいと考えています。電中研ブランドの成果が一つでも多く社会で活用されるよう、また、将来の画期的オプションにつながるイノベーションの創出を目指して、努力していく所存です。



企画グループ
上席
犬丸 淳

R&D

PDセンターが本承認を受ける

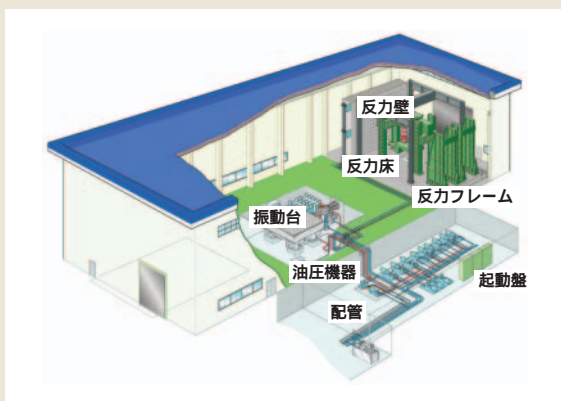
昨年12月にPD認証制度に基づく「PD資格試験機関」および「PD試験センター」の仮承認を受けていたPDセンターが、3月14日付けで正式に承認されました。試験日程などはPDセンターWebサイトで御覧ください。

<http://criepi.denken.or.jp/jp/pd/index.html>

ハイブリッド動的力学試験設備が完成

我孫子地区に新しい耐震実験設備が完成しました。コンピュータ・シミュレーションと振動実験を連携させる「ハイブリッド実験」により、構造物の地震時の大変形や破壊を低コストで再現できます。各種電力施設のほか、社会基盤施

設についても実験研究の対象とし、耐震性向上や地震災害防止に貢献していきます。



ハイブリッド動的力学試験設備

CRIEPIイベント情報

2006年4月～7月

電中研が開催するイベントをご紹介します。詳細は、当所のホームページをご覧ください。

平成18年度研究所公開（無料）

日時：5月21日(日) 10:00～15:30

場所：赤城試験センター

お問い合わせ：同上 TEL：027-283-2721

電中研：技術講座

「第6回ヒューマンファクターセミナー」(有料)

日時：6月15日(木) 10:00～16:00

場所：コクヨホール(品川)

お問い合わせ：社会経済研究所 TEL：03-3480-2111